

令和7年度 未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト報告書

学校番号	30	学校名	巨摩高等学校	全・定・通	定	在籍生徒数	18	名
スクールポリシー (学力に関するもの)	巨摩高等学校定時制課程で育成を目指す資質・能力に関する方針です。							
グラデュエーション ポリシー	生徒の卒業後の姿を見据えて、 どのような資質・能力を育成することを目指すのかを定める方針です。							

生徒主体の授業への転換のための取組テーマ	
1.	自ら自己調整をしながら学習を進めていくことができる自立した学習者づくり
2.	ICTの活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

具体的な取組
生徒主体の授業への転換のための取り組みテーマを踏まえた具体的な内容です。

「生徒主体の授業への転換のためのアンケート」高評価数値の推移(%)	R7中間	R7末
1. 自分の学習課題や学習方法を選択して自主的、自発的に学習に取り組むことができた。(①強くそう思う, ②そう思う)	年ト生徒の果 平均4ヶ 値学!	
2. 授業でICT機器を効果的に活用することができた。(①強くそう思う, ②そう思う)		
3. 家庭学習でICT機器を効果的に活用することができた。(①強くそう思う, ②そう思う)		
4. 授業で他の生徒と話し合いながら、自分の考えを深めたり、新たなことに気付いたりすることができた。(①強くそう思う, ②そう思う)		
5. 学んだことを生かして、授業で自分の考えをまとめたり発表したりすることができた。(①強くそう思う, ②そう思う)		

総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の取組を含む)

各教科の取組		※左欄の取組テーマの実践を通して各教科の資質・能力を育成する。		
教科	生徒が身に付ける資質・能力	中間評価	年度末評価	課題解決のための次年度の取組
国語	スクールポリシーと学習指導要領の理念に基づき、生徒の特性等を踏まえて、教科等の指導において育成する資質・能力を定めています。			生徒による達成度の5段階評価です。年度の間と年度末の2回実施し、その変化を見取ります。そして、この数値を一つの材料として、授業担当の先生方の評価を踏まえて、生徒の学習改善や教師の指導改善に生かすことに活用しています。なお、目標や取り組みは学校ごとに異なるため、他校の数値との単純な比較はできません。
地歴公民				
数学				
理科	<p>《プロジェクトの概要》</p> <p>県立高等学校の学力向上については、学習指導要領の着実な実施を目指すとともに、変化の激しい社会において新たな価値を創造する人材の育成に向けて「生徒主体の授業への教育観の転換」を図るために、「未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト」として山梨県教育委員会の主導のもと令和7年度からの3か年計画で実施されています。</p>			
保体				
芸術(書道)				
外国語				
家庭				
情報				
総探				